



リステラス星圏史略
古資料ファイル
1 - 3 - 2



『銀の谷の物語』

(発掘作業一旦完了)

霧樹里守 is 土岐真扉

『 銀の谷の物語 』

「ひきょうもの!!」 (中学1年)

[「ひきょうもの!!」 \(中学1年\)](#)

2016年6月3日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(1\)](#)



「丸腰？ さあそれはどうかな？」 (中学1年のラフ。)

「丸腰？ さあそれはどうかな？」 (まだ漫画家になろう！と思っていた中学1年のラフ。)

2016年6月3日 リステラス星圏史略 (創作)



「エルフの血を引く女騎士 リリィ・カタナ」 (中学1年?)

「エルフの血を引く女騎士 リリィ・カタナ」

2016年6月3日 リステラス星圏史略 (創作)



アトランティス大陸

エルフの血を引く

女騎士 (ルワ・ヘルマ)

リリィ・カタナ

女剣士 (ルワ・ブラダ)

女騎士 (ルワ・ヘルマ)

あれ！？

銀髪じゃなかったっけ？

『 (無題) 』 (中学2～3年の創作メモ帳)

『 (無題) 』 (中学2～3年の創作メモ帳)

2006年6月28日 連載 (2周目!・上古神代～水の大陸)

運命 (さだめ) に抗って勝てた者はいない
もし抗って勝てるものなら
それは運命とはいわないのだ.....

『アイネ.....』の断片なのか、
他の『長寿人』シリーズの構想なのか、
もはや忘れた☆

イラストは、「銀」のつもりで描いているのかな～??

「アトランの放浪者、女剣士リィ」に関して。

in regard to.

彼女の見つめたかったもの – 【自分が属する場所】。それが知りたくて漠然と旅に出、一人の男と闘い合うようになる。

ある時その男に犯され、子どもを孕んだ。数ヶ月後、その事を知らずに男は、これを最後とばかりに斬り掛かる。深手を負った彼女が無限空間を通り抜け、死の間際に、生まれる子どもの為に助けを求めた家は …… 自分が生まれた家、だった。

そうして、彼女は、「自分が自分自身に属する者であった」ことを知り、微笑みを浮かべて、忘却の淵に着こうとする……。

その家の主たちが気付いた時、床の上に残されていたのは黒い胸飾り – かの男がそれと同じ物を身に付けていたが故に彼女は男を仇として追いつめたのだ – と、一輪の白い椿の花だった。

白い椿は至福の国に咲くという。

彼方。

ある日、白い鳥を胸に抱いて駆ける、黒い馬に乗った男を – 見た者がいた。

（ただし、これだと最初の設定からかなり食い違う……。）

+++++

「この盗人め！ 私の荷と馬を返せ!!」

「……悪かった。その胸飾りが、私の無くした物と同じなのだ。」

「嘘ではない。疑うのなら、さあ、わたしはこの右腕一本で生きている。これを切ってくれ。」

」

+++++

水の十字架 > 水の守護符

共通点： 銀に水晶を象眼した、珍しい意匠のものであること。

エルフの血をひく女騎士（ルワ・ヘルマ）＝リリィ・カタナ。

（自作いらすと） <..... あれ？ 銀髪じゃなかったっけ？

女剣士（ルワ・ブラダ）

女騎士（ルワ・ヘルマ）

（※この頃は、まだ「漫画家になりたい!!」と言っていたので、設定ノートも文章や文字より、イメージイラストの方が多い.....☆）

（.....ここにイラストをアップするのって、
どーやればいいのかお～？）

炎銀（みすりる）の瞳 炎銀の髪。 （たぶん高校の時だと思う...）

炎銀（みすりる）の瞳 炎銀の髪。

2016年6月3日 リステラス星圏史略 （創作）



「アトランの放浪者・女剣士リィ」に関して

彼女の見つけたかったもの... "自分が属する場所"。

それが知りたくて漠然と旅に出、一人の男と闘い合うようになる。

ある時その男に犯され、子供を妊った。

数か月後、その事を知らずに男はこれを最後とばかりに切りかかる。

深手を負った彼女が無限空間を通り抜け、死の間際に、生まれる子供の為に助けを求めた家は...自分が生まれた家だった。

そうして彼女は、自分が自分自身に属する者であった事を知り、微笑みを浮かべて忘却の淵に着こうとする。

その家のあるじたちが気づいた時、床の上に遺されたのは黒い胸飾り...男がそれと同じものを身に着けていたが由に彼女は男を追い始めるのだ...と、一輪の白い椿（カメラリア）の花だった。

白い椿は至福の国に咲くという。

彼方。ある日、白い鳥を胸に抱いて駆ける黒い馬に乗った男を... 見た者がいた。

（ただし、これだと最初の設定からかなり喰い違う。）

[『水の大陸』 ～銀の道～](#)

2006年4月21日 [連載 コメント \(1\)](#)

のちにアトル・アンタイス（水の大陸）初の女性騎士として伝説上の人物となる放浪の女剣士ユリィの、出生の謎と若き日の恋愛の物語。「剣と魔法と冒険」のレトロなファンタジーを装いつつ、実わタイムパラドックスものだったりするので、SF？（笑）

ユリィの残した「伝説」そのものは、長くて面倒臭いので、小説という形には書かないかもしれない。他の作品の中に劇中劇として描出するだけの可能性が大……。

リステラス星圏史略
古資料ファイル
1 - 3 - 2
『銀の谷の物語』

<http://p.booklog.jp/book/107609>

著者：霧樹里守 is 土岐真扉

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/107609>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/107609>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ